

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

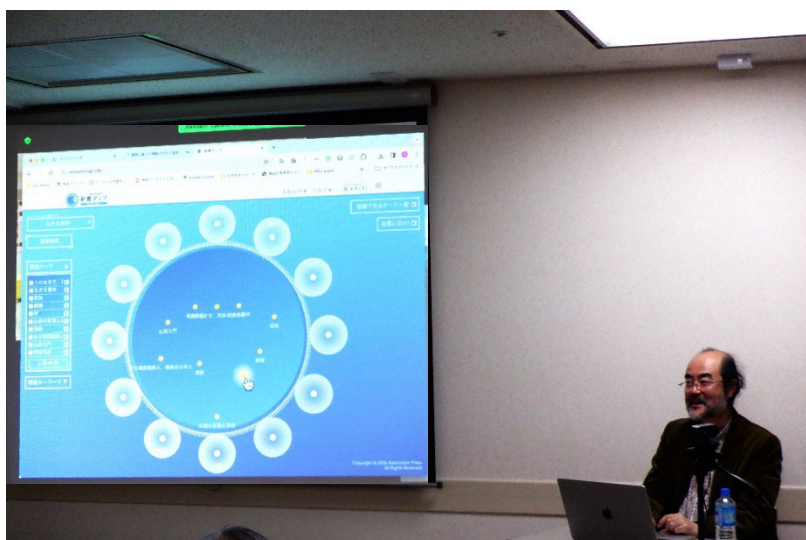
| | | |
|------|--|-----------|
| 開始日時 | 2023 年 12 月 23 日 (土) | 14 時 00 分 |
| 終了日時 | 2023 年 12 月 23 日 (土) | 16 時 30 分 |
| 名称 | 第 128 回 専門知識向上講演会 | |
| 主催者 | 公益社団法人日本技術士会 千葉県支部 | |
| 開催場所 | 千葉市文化センター講演+ZOOMリモート講演 | |
| 行事内容 | 1. 主催者挨拶 熊田支部長 2. 講演者紹介 矢野技術士 3. 講演 「連想情報学と生成AI：デジタルアーカイブの活かし方」 講師：高野 明彦先生 国立情報学研究所 名誉教授 | |
| 参加人数 | 会場出席者20名、リモート講演出席者38名、合計、58名 | |

講演概要：

連想情報学では、大量の文書データをあらかじめ計算機構に変換しておくことにより、内容の類似性による検索や収集した文書の自動要約を実現してきた。近年の生成 AI 技術の実用化により、連想情報学の適用範囲はさらに広がると期待されている。そこでは、事前の変換や学習に利用できるデジタルデータの品質が重要な役割を果たす。

講演においては、新書マップや、文化遺産オンライン、デジタルアーカイブのある未来のミュージアム、デジタルツインなど、多くの適用事例が述べられ、丁寧に説明がなされた。国会図書館の改革、新しい著作権法についての話もあった。

生成 AI の役割、そのトレンド、今後、どのように発展するかの考察も述べられた。質疑応答では、チャット GPT を代表する生成 AI についての今後についても話し合われた。



講演中



質疑応答



会場風景